



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:059-331-1670  
fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 我が命への感動あつてこそ 生まれ甲斐ある人生となる

一年生の孫から「ねえ、じいちゃん。歳をとるとどうして1年が過ぎるのが速いと感ずるのか、分かる？」と尋ねられました。「そりゃ、歳をとると古い先が短いと思うから、一年一年が名残惜しく思うようになるのだよ」と答えました。すると、「つまんねえ考えだなあ。ぼーっと生きてるんじゃないやねえよ!」ときつーいお叱りが返ってきました。実はこのセリフ、今子供たち人気の「チコちゃんに叱られる」というテレビの番組でよく聞くセリフでした。

「それじゃ、正しい答えを教えてください」と孫に尋ねると、「それはね、歳をとると、『ときめき』がなくなるからなんだよ」とびっくりするような話です。「ときめきって、好きな人に感ずる『ときめき』なのかね?」「そうじゃないの。きれいなものを見て素敵だなあ、と感じたり、よい音楽を聴いて感動したりする時に感じる、ときめきさ。」「ああそうか、『ときめき』ってというのは感動する心のことなのだね。感動する心が退屈しない生き方とい

うことか。有難う君のお蔭で大事なことを教えられたよ」という会話、これも「ときめきかな」と嬉しく思いました。

「ぼーっと生きてるんじゃないやねえよ」というチコちゃんのセリフは、英語でいう「ドント・スリープ・スルー・ライフ」ということで、「生涯を通じて眠ったような生き方をするな」という訳です。つまり「目覚めて生きるならば、日々ときめいて感動があり、心豊かで退屈しない生き方」ができるということなのです。

我々人間は目を開けて生きているように思っていますが、それは外を見る思慮、自己分別の世界を見ているだけであり、壁を作り、「わが身可愛いや」と閉じこもる闇の世界ですから、ときめきも感動もありません。自己一如という壁を破る智慧の光に照らされ、わが身の闇が明らかになってこそ生かされて生きる命の真実が知らされて、命を支えるあらゆる恵みに対する感動が生まれます。

我が命への感動あつてこそ、人間に

生まれた「生まれ甲斐ある人生」と言えるのではないのでしょうか。

二度とない人生だから  
一輪の花にも  
無限の愛を そそいでゆこう

二度とない人生だから  
一羽の鳥にも  
無心の耳を かたむけてゆこう

二度とない人生だから  
一匹のおおろぎでも  
ふみころさないように  
心してゆこう  
どんなにか 喜ぶことだらう  
.....(坂村真民)

## ★ 写真アラカルト ★

信楽峻鷹先生作詞、信心の歌「佛慧」楽譜集発刊。作曲は呉の富田和代様、歌は二階堂和美様、CD作成。「歌うお聴聞」として大好評。3曲の仏教讃歌。一緒に歌いましょう!



### ☆行事ご案内☆

◇春季永代経 講師:稲葉芳道先生(吉野)

3月16日(土)午後1時半



17日(日)午後1時半

※永代経お経聞き(招待者)は16日(土)午前10時半

◇三全仏教婦人会総会

3月20日(水)夜7時 善正寺本堂

◇絵手紙教室 3月12日(火)午前10時庫裏食堂41回目  
小杉郵便局にも展示、川崎光子先生「下手でいい下手がいい」

◇キッズサンガ 3月2日(土)4時、新しいお友達大歓迎  
6年生送る会、鐘撞きは毎日夕方5時年中無休、心の教育を!

◇三重組十三日講 3月13日 午前・午後  
東日野・西覚寺様、講師本田智量師

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索、過去1年分の寺報閲覧可、毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評!開設10年7か月で累計28万6千訪問、コメントメール相談、お悩み相談など大歓迎!即返信。

◇一縁会テレホン法話TEL059-354-1454へお電話下さい。  
三重組5か寺の僧侶、若院、坊守が週替りで3分法話

◇新納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい、本堂使用可

# 坊守スケッチ 新パソコンでパニック



長年慣れ親しんだパソコンの補修サービスが今年限りで終了するので、より安全な新パソコンにした方がいいと聞いた。毎日使っていたパソコンから新しいウィンドウズ10に買い替えるには勇気が要ったが、思い切って新パソコンを購入した。勿論データの移し替えは専門業者に頼んだ。

しかしそれで充分ではなかった。購入後に三度も、新旧のパソコンやプリンターを専門店へ持ち込んで教えを乞うた。店長さんは親切に対応してくれたが、内心「鬱陶しいバアサンだなあ」と思ったに違いない。私の信条は「聞くは一時の恥。聞かぬは末代の恥」。だからプライドを捨てて、何でも謙虚に聞くことがパソコン上達法だと思う。私の学生時代にはパソコン教育など皆無。まさか古希を迎える年齢になって、パソコンやスマホを使いこなすのに、苦勞するとは思わなかった。高齢者の中には、「そんなもの無くても立派に生きていけるさ」と信念を貫く人もいる。世間の煩雑な情報から隔離されても感わされることなく、孤独にも耐えてマイペースで一人立派に生きている。

パソコンやスマホは、変化の激しい現代を生き抜くには、コミュニケーションの道具として必要かもしれないが、それを使った中身の質や情報の内容の方がもっと大事だと思う。

若者の誰もがスマホを持ち歩き、パ

ソコンで仕事をこなす時代になって、私達は大事なことを過去に置き去りにしてきたのではないだろうか？

最近の本が売れなくなった。新聞も読まなくなった。ネットで瞬時に拡散する情報を鵜呑みにして、騙される事件も頻繁に発生。先人の智慧に学ぶどころか、ネット検索で安易に情報を得る。汗水垂らして修行を積む人も少ない。古老の智慧から学ぶ人も少ない。このまま時代が進めば、自己中心的な人間が横行して、ますます生き辛い時代になるのではないだろうか？

新パソコンを使いこなすには時間が必要だが、安心して生き抜くための『心の拠り所』をもっと身近に情報発信することが問われていると思う。

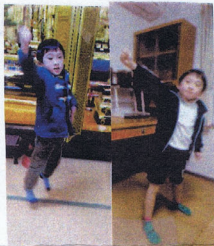
## 寄稿

山の神雪雲連れて伊勢の海 釋妙水

墨を摺る百福と書初めし朝  
渦を巻く歌にお喋り初談義

六つの花背中にぶつけ追い越せり  
震えつつ紅き蕾の梅一輪 釋清風

蜜柑むく小さき手々の早や巧み  
蜃梅の香りゆかしや師を憶ふ  
寒風を聞きて独りの日記書く



## ☆若院夫婦の「育自な日記」51

小学一年生の長男は遊び盛りです。帰宅後、早々に宿題を済ませては「〇〇くんの家に遊びに行く約束した」と飛び出していきます。近所の友達の家なら一人で行けるのですが、車で送迎が必要な場合、子供同士の口約束だけではとても心配です。どこで、何時まで遊ぶのか、低学年の間は親同士が約束し合わないといけません。連絡先を知っているお家ならいいのですが、そうではないと遊びには行きません。

車の送迎は夕方の通勤帰りの渋滞する時間帯に重なります。私の書道教室の曜日には、時間的に車の送迎は難しいので可哀そうですが諦めてもらいます。

最近の子ども達は、みんなゲーム機を持ってきて数人寄って小さな画面を覗きこんでいます。ゲーム機を持っていない長男はそれを羨ましく思っているようです。ゲームに飽きるとドッジボールやサッカー。室内ではトランプやUNOのカードゲーム、そういう光景は昔と同じでほっとします。

子ども達には学校の勉強も大事な仕事ですが、遊びも大事な仕事です。外で遊ぶ子供たちを見てみると、いつも全力投球！大人のように後の事を気にすることなく、その瞬間を一生懸命に使っているという感じです。「勉強も遊びもやるときはやる！」の精神で、貴重な時間を過ごしてほしいと思います。(若坊守)

## カンパありがとう！

本田和子様、関崎敦子様、稲葉芳道様、他匿名より頂戴しました。感謝！

## ホットニュース

※お寺で「歌声喫茶」1・28庫裏食堂で初めて開催。次回は2・28(金)午後1時。不定期ですが皆で楽しく歌いおしゃべりします。誰でも参加OK

平成31年度・善正寺主な行事案内

☆春季永代経(3月16日・17日) 両日午後1時半、吉野、稲葉芳道先生

☆善正寺門信徒總會5月19日午前

☆五福盆会法要8月15日朝8時半

☆秋季永代経(8月17日・18日) 両日共午後、尼崎市 足利孝之先生

☆小杉町仏教会追悼法要9月22日(日)午前10時・午後1時・相愛大学

教授・大阪池田市 釈徹宗先生(初)

☆報恩講11月2日(土)午前と夜

3日(日)午前のみ。但し2日11時よりお非時接待。(講師) 京都るんびに

園理事長・藤大慶先生

☆秋勸進11月23日午前8時

☆お内仏報恩講12/7午前10時半

※毎月第3日曜日の夜7時半は例会

## ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」303号をお届けします。◇平成の時代が後僅かとなりました。長寿化が進み、便利さを手に入れましたが、虐待等悲しい事件が絶えません。◇人間性喪失の時代とは悲しくも嘆かわしい。◇共に如來の悲願を聞き開きたいとの願い切なる次第。

夜明け前に東の空を見上げると、金星がキラキラ輝いています。その傍に木星が寄り添っています。月は日々刻々と形や場所を変えて現れます。午前5時松は夜明け前の天体ショーを楽しみながら垂坂山へ散歩に出発します。四日市コンビニートの夜景を眺めながらのラジオ体操。これが松の一日の始まりです。遠くへ旅行に出かけなくても唯一のストレス発散と癒しの時間です。そのおかげで健康に恵まれました。人間の幸福度は他人と比較するものでもなく自分の心が決めるものです。また数値化されるものでもありません。自分が置かれた立場に感謝して精一杯生きることです。世間ではずさんな統計調査疑惑で大騒ぎしています。いくら数字が改善されたところで全ての国民が幸福に感じられるでしょうか。お金持ちに限って「もっと欲しい」と思いがちな「いつも不平不満を言う人や、利益を独り占めする人には決して幸福感は味わえません。」足るを知る心しや「布施の心しはどうしたら養えるのでしょ」うか？、そこには家庭教育やしつけ、社会全体で分かれ合い、育て合う関係が必要です。現在はそれがななおざりです。仏法を聞くことでお互いを思いやる「心の眼」を養いましょう。永代経法要は、ご先祖があなたにかけられた確かな願いを受け取る法座です。夜明け前の星の輝きは、先立たれた人々の無数の瞳に感じられ、どうのお誘い合わせてお参り下さいませ。合掌 善正寺坊守拜

平成三十一年三月